

公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)

# 資格更新のための単位取得に関する手引き

対象

JSPO-AT資格保有者

令和8(2026)年1月29日公開

# 0.はじめに

## ● 本手引きは、以下2点の資料から資格保有者に特に必要な情報を抜粋した資料です。

公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー  
更新登録要件

公益財団法人日本スポーツ協会(以下、JSPO)公認スポーツ指導者登録規程第6条に定める更新登録要件のうち、公認アスレティックトレーナー(以下、JSPO-AT)については以下のとおりとする。

1. 更新登録要件

更新研修への参加や JSPO-AT としての活動実績を単位として算出し、有効期限の6ヵ月前までに合計10単位以上(必須単位を含む)<sup>※</sup>を取得することで JSPO-AT の更新登録要件を満たしたことになる。

単位取得にあたっては、JSPO-AT のコンピテンシーをふまえ、自己分析のうえで自身に必要な研修を11カテゴリから選択し計画的に取得することが望ましい。

※講習・試験免除適応コースのアスレティックトレーナー専任教員(以下、AT 専任教員)が AT 専任教員を継続するために取得が必要な単位は20単位以上とする。  
ただし、AT 専任教員講習会修了後から初回の JSPO-AT 資格更新までの期間が4年未満の場合に限り、特例として取得が必要な単位は10単位以上とする。  
なお、上記特例を除いて、20単位未満だった場合、AT 専任教員としての資格を喪失するが、取得した単位が10単位以上だった場合は、JSPO-AT 資格の更新登録要件は満たすものとして扱う。  
(別に定める「アスレティックトレーナー更新登録基準・新カリキュラム対応版」参照)

2. 単位の申請・承認に関する事項

別に定める「日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」に基づき、更新研修受講実績・活動実績を JSPO が単位として承認する。

3. 移行措置

令和8年4月1日時点で有効期限までの期間が4年未満の場合、以下の(ア)、(イ)のいずれも満たすことで更新登録要件を満たしたことになる。

(ア)別に定める「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」における「カテゴリ-A JSPO が認める一次救命処置(BLS)資格の保持」から1単位を取得  
(イ)別に定める「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」における「カテゴリ-C JSPO が認める国内での研修への参加」から2単位を取得

4. 附則

この基準は、アスレティックトレーナー部会の決定により変更することができる。  
令和6年4月1日作成  
令和8年1月xx日改定、令和8年4月1日施行

公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)  
更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準

1. 目的

公益財団法人日本スポーツ協会(以下、JSPO)という、)は、別に定める「日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー更新登録要件」にもとづき、更新研修受講実績および活動実績を単位として承認する基準を定める。

2. カテゴリ別承認基準

**カテゴリ-A JSPO が認める一次救命処置(BLS)資格の保持**

JSPO は、別に定める「日本スポーツ協会アスレティックトレーナー資格取得・更新のための一次救命処置資格 承認基準」を満たす BLS 資格講習会を受講し、更新登録予定日において JSPO が認める有効な BLS 資格を保有していることで単位として承認する。

**カテゴリ-B インテグリティ研修への参加**

JSPO は、JSPO が義務づけるインテグリティ研修への参加実績を単位として承認する。

**カテゴリ-C JSPO が認める国内での研修への参加**

JSPO は、別に定める「カテゴリ-C:JSPO が認める国内での研修 承認基準」を満たす研修会をあらかじめ更新研修として承認する。承認された研修会の主催団体は、JSPO に代わり参加実績を単位として承認する。

**カテゴリ-D JSPO が認める国外での研修への参加**

JSPO は、以下(ア)~(ウ)の全ての条件を満たす研修会への参加実績を単位として承認する。

(ア)主催団体

国外に拠点があつた以下のいずれかに該当する。

- World Federation of Athletic Training & Therapy
- International Olympic Committee
- World Federation of Athletic Training & Therapy Charter Members (2025年11月時点:12団体、最新情報はWFATTのホームページを確認すること)

(イ)研修内容

次のいずれかに該当する。

- 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防
- コンディショニング
- リコンディショニング
- スポーツ現場における救急対応
- 検査・測定と評価
- スポーツ科学(トレーニング科学、バイオメカニクス、運動生理学、スポーツ心理学)

公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準 別表						
カテゴリ	内容	単位換算方法(注1)	単位数			単位申請
			必須	上限(注2)	専任教員数(注3)	
A	JSPOが認める一次救命処置(BLS)資格の保持	1回:1単位	1単位	2単位	2単位	本人
B	インテグリティ研修への参加	1回:1単位	1単位	1単位	1単位	JSPO
C	JSPOが認める国内での研修への参加	学術団体主催の学会等 指定演題(プログラム)への4時間以上の聴講:2単位(注4) 基盤を基にした3時間以上の研修会への参加:1単位 JSPOが認める国内での研修への参加	2単位	—	—	団体
D	JSPOが認める国外での研修への参加	3時間以上の参加:1単位	—	5単位	10単位	本人
E	各種セミナーへの参加	3時間以上の参加:1単位	—	1単位	2単位	本人
F	AT専任教員ミーティング、AT専任教員講習会、ユースデベロップメント養成講習会	1回:1単位	1単位 (専任教員のみ)	1単位	4単位	JSPO
G	スポーツ現場におけるJSPO-ATとしての活動 ※カテゴリーAは除く	1日3時間以上の活動時間 を有する日の実時間で 100日以上:1単位	—	3単位	3単位	本人
H	アスレティックトレーニング学関連領域に関する学術・研究活動	研究発表(1回:1単位) 研究報告(1回:1単位) 研究論文・書籍等の活動 (原著・共著・訳著・実証報告・事例報告) 研究論文以外・書籍等の活動 (原著・共著・訳著・実証報告・事例報告) 専門書籍の執筆等の活動	—	3単位	4単位	本人
I	研修会等での教育活動	1講義:1単位	—	3単位	6単位	本人
J	先述適応コース承認が実施するJSPO-ATの教育活動	現場実習指導者としての活動 実習指導者としての活動 実習指導者としての活動 実習指導者としての活動	—	3単位	3単位	学校
K	JSPOが実施するJSPO-ATの教育活動	JSPO-AT養成講習会の聴講としての活動 AT現場実習指導者養成講習会の参加 実習指導者としての活動	1講義:1単位(注7) 1回:1単位(注5) 1回:1単位(注5)	—	4単位	JSPO

(注1)単位換算方法に記載の時間数に上乗せして、指定の単位の単位のみ付与される。  
例:カテゴリーCで同一研修会に6時間参加しても1単位、カテゴリーCとして認められたい研修会に参加して2単位ずつ取得することは可  
(注2)上限単位数を超えた更新研修受講実績および活動実績は単位として承認しない。  
(注3)JSPO-ATとアスレティックトレーナー専任教員は、必須単位または上限単位が異なるため、以下の表に表記することで区別する。  
JSPO-AT:一般AT/専任教員  
AT現場実習指導者養成講習会:専任教員  
(注4)学術団体主催の学会では、JSPOに承認された指定演題(プログラム)の聴講が必要となる。  
指定演題(プログラム)は、学会が事前にJSPOへ申請し、承認を受けたものに限る。  
(注5)1年間のうち指定演題・プログラムを複数回担当しても1単位以上は実績として承認しない。  
(注6)1年(上期/下期)のうち複数科目で講義を担当しても2単位以上は実績として承認しない。  
(注7)講義1期あたり、複数の講義で講義を担当しても2単位以上は実績として承認しない。

## 公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 更新登録要件

公益財団法人日本スポーツ協会(以下、JSPO)公認スポーツ指導者登録規程第6条に定める更新登録要件のうち、公認アスレティックトレーナー(以下、JSPO-AT)については定める。

## 公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準

別に定める「日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー更新登録要件」にもとづき、更新研修受講実績および活動実績を単位として承認する基準を定める。

- 研修会主催団体に必要な情報は、別に定める以下の基準や手引きをご確認ください。

公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPPO-AT）  
更新研修 カテゴリーC JSPPO が認める国内での研修  
承認基準


1. はじめに  
公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「JSPPO」という。）は、別に定める「公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」にもとづき、「カテゴリーC JSPPO が認める国内での研修」として実施される研修会をあらかじめ承認する基準を定める。

2. 実施団体  
以下のいずれかに該当する団体が開催する。  
・ 学術団体等  
・ 都道府県 AT 協議会、アスレティックトレーニング関連団体等

3. 内容  
JSPPO-AT に関係する講演、研究発表、実技、指導実習または研究協議などによって構成され、以下のいずれかの内容を含むものとする。  
(1) JSPPO-AT の役割  
(2) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防  
(3) コンディショニング  
(4) リコンディショニング  
(5) スポーツ現場における救急対応  
(6) 検査・測定と評価  
(7) スポーツ科学（トレーニング科学、バイオメカニクス、運動生理学、スポーツ心理学）  
(8) スポーツ医学  
(9) アンチドーピング  
(10) スポーツ栄養  
(11) スポーツ現場におけるスタッフ（ドクター、トレーナー他）の活動報告等

4. 時間数および単位換算方法  
以下のいずれかに該当する。なお、時間数の条件を満たさない複数の学会や研修会等を合算して申請することはできない。

主催団体	条件	単位数
学術団体主催の学会等	JSPPO が指定する演題（プログラム）への 4 時間以上の受講	2 単位
都道府県 AT 協議会等主催の研修会、アスレティックトレーニング関連団体主催の研修会	基準を満たした講演への 3 時間以上の参加	1 単位

 **JSPPO**  
Japan Sport Association

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPPO-AT）更新研修  
カテゴリーC：JSPPOが認める国内での研修

主催団体の事務手続きに関する手引き

対象

- ・ 学術団体
- ・ JSPPO-AT都道府県・ブロック協議会
- ・ 中央競技団体
- ・ アスレティックトレーニング関連団体

令和8(2026)年1月xx日公開

©2026 Japan Sport Association. 1

公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPPO-AT）  
更新研修 カテゴリーC JSPPO が認める国内での研修  
承認基準

別に定める「公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」にもとづき、「カテゴリーC JSPPO が認める国内での研修」として実施される研修会をあらかじめ承認する基準を定める。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPPO-AT）更新研修  
カテゴリーC：JSPPOが認める国内での研修  
主催団体の事務手続きに関する手引き

別に定める「公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPPO-AT）更新研修 カテゴリーC JSPPO が認める国内での研修承認基準」にもとづき、団体等が更新研修を申請する際に必要な手続きや注意事項等を記載した資料である。

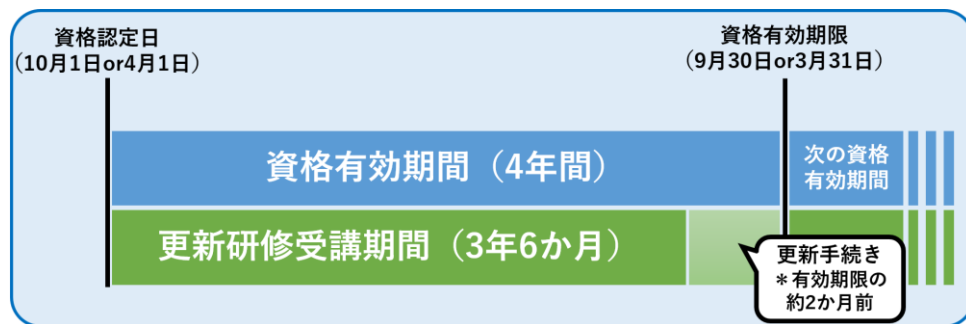
# 1. 更新登録要件の概要

- 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)の資格有効期間は4年間です。
- 資格を更新するには、有効期限の6か月前まで(認定日から3年6か月以内)に更新に必要な単位を取得する必要があります。

## Point

- 資格認定日(更新日)に、それまでの研修実績がリセットされます。そのため、資格認定日以前の研修実績は、資格認定日以降の研修実績として持ち越されませんのでご注意ください。

例:2025年4月1日付で新規登録(追加登録や昇格は除く)や更新登録された場合、2025年4月1日以降に開催された研修が実績の対象となります。



	有効期限	更新研修の受講期限	更新登録手続き期間
2026年	3月31日の方	2025年9月30日までに受講	2026年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2026年3月31日までに受講	2026年7月下旬～9月30日
2027年	3月31日の方	2026年9月30日までに受講	2027年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2027年3月31日までに受講	2027年7月下旬～9月30日
2028年	3月31日の方	2027年9月30日までに受講	2028年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2028年3月31日までに受講	2028年7月下旬～9月30日
2029年	3月31日の方	2028年9月30日までに受講	2029年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2029年3月31日までに受講	2029年7月下旬～9月30日

# 1. 更新登録要件の概要

## 改定前の要件

以下のいずれかの更新研修を受講する。

A.1回の参加で資格更新の要件を満たす研修会(学会、学術団体等)

B.2回の参加で資格更新の要件を満たす研修会(都道府県アスレティックトレーナー協議会主催研修会等)

さらに、更新研修の受付時(または出席確認カード提出時)にBLS資格の修了証または認定証を提出する。

## 改定後の要件

研修や活動実績に関する11カテゴリーから、必須単位を含む**合計10単位以上**を取得する。

※講習・試験免除適応コースのアスレティックトレーナー専任教員は**合計20単位以上**

(別紙「アスレティックトレーナー更新登録要件」に定めるとおり)

## Point

- 改定後の要件では、これまでのように1～2回の参加のみで更新要件を満たすことはできません。学会・研修会への参加が必須単位であり、加えてアスレティックトレーナーの活動実績や教育実績を単位として申請できます。
- 改定前の更新登録要件のひとつである「BLS資格の保持」は、改定後の要件カテゴリーAとして引き続き位置づけています。

## 施行日

**令和8(2026)年4月1日**

ただし、令和8(2026)年4月1日時点で有効期限までの期間が4年未満の場合、次のページのとおり移行措置を適用する。

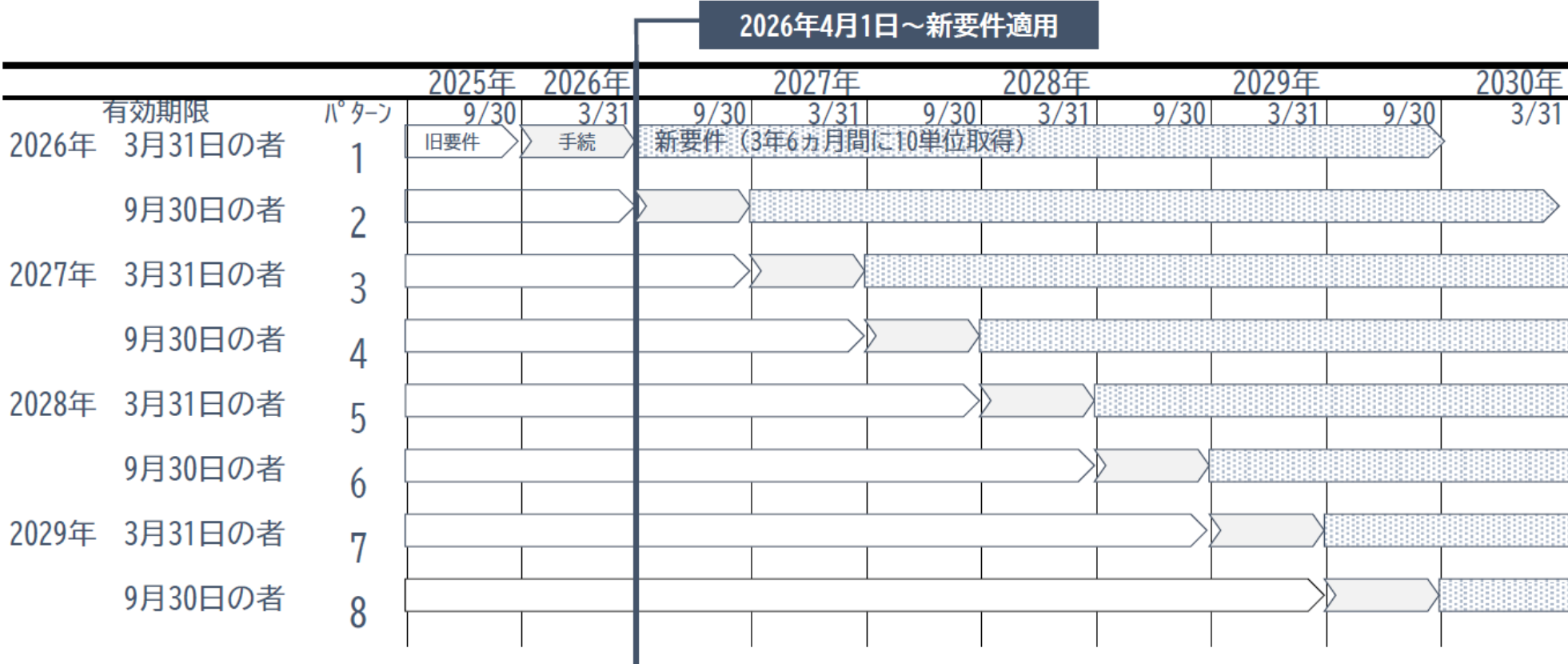
# 1. 更新登録要件の概要

移行  
措置

令和8(2026)年4月1日時点で有効期限までの期間が4年未満の場合(下図のパターン2~8)、その資格有効期間内に、以下の(ア)、(イ)のいずれも満たすことで更新登録要件を満たしたこととする。

(ア)別に定める「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」における「カテゴリーA JSPOが認める一次救命処置(BLS)資格の保持」から1単位を取得

(イ)別に定める「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」における「カテゴリーC JSPOが認める国内での研修への参加」から2単位を取得





## 2. 単位取得方法

以下11カテゴリーのいずれかに該当する更新研修受講実績および活動実績は単位として承認されます。

**A** JSPO が認める一次救命処置(BLS)資格の保持

**B** インテグリティ研修への参加

**C** JSPO が認める国内での研修への参加

**D** JSPO が認める国外での研修への参加

**E** 各種セミナーへの参加

**F** 教授法に関する講習会への参加

**G** スポーツ現場におけるJSPO-AT としての活動

**H** アスレティックトレーニング学関連領域に関わる  
学術・研究活動

**I** 研修会等での教育活動

**J** 免除適応コース承認校が実施する  
JSPO-AT の教育活動

**K** JSPO が実施するJSPO-AT の教育活動

合計11カテゴリー

(「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」のとおり)

# 2. 単位取得方法

- 単位取得方法は、更新研修受講実績や活動実績の申請者別に5つに分けられます。
- 団体・学校は指導者管理システムから、資格保有者自身はMyJSPOから実績を申請してください。

	方法	単位申請者	カテゴリー
1	1. 団体がJSPOに研修会の実施を申請し、JSPOが承認する。 2. JSPOが承認した研修会に本人が申し込み、参加する。 ・ 参加方法は主催団体の指示に従う。 3. <b>団体</b> が指導者管理システムから実績を登録し単位を取得する。 ・ 参加後1か月以内に申請する。	団体	C
2	1. 学校の指示に従い、本人が活動する。 2. <b>学校</b> が指導者管理システムから実績を登録し単位を取得する。 ・ 参加後1か月以内に申請する。	学校	J
3	1. 本人が研修会や活動に申し込み、活動する。 2. <b>JSPO</b> が実績を登録することで単位を取得する。	JSPO	F・K

(「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」のとおり)



## 2. 単位取得方法

	方法	単位申請	カテゴリー
4	<p>1. 本人が研修会に申し込む。または基準を満たした活動に参加する。</p> <p>2. 実績を<b>資格保有者自身</b>がMyJSPOから申請する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• MyJSPOの質問項目に入力＋書類のアップロード</li><li>• アップロードするファイルはカテゴリーで異なる(以下参照)</li></ul> <p>3. JSPOは申請された実績を確認し、承認する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 申請した研修実績が承認されるとは限りません。</li><li>• 4～9月中にご提出いただいたものは11月、10～3月にご提出いただいたものは5月までに反映されます。</li></ul>	資格保有者自身	A・D・E・ G・H・I
5	<p>1. 本人がMyJSPOから動画を視聴する。</p> <p>2. 動画視聴完了後、<b>MyJSPOから自動的に</b>単位を取得する。</p>	MyJSPOからの 動画視聴	B

(「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」のとおり)

### 3. カテゴリー別詳細

#### カテゴリーA JSPOが認める一次救命処置(BLS)資格の保持

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限				
	一般	専任教員			
1	2	2	1回:1単位	<ul style="list-style-type: none"><li>MyJSPOから、1.BLS資格(有効期限付) 認定証 2.開催要項 を画像またはPDF形式でアップロードする。</li><li>詳細は別に定める「日本スポーツ協会アスレティックトレーナー資格取得・更新のための一次救命処置資格 承認基準」のとおり</li><li>よくある質問は<a href="#">こちら</a></li></ul>	日本赤十字社救急法基礎講習を受講し、赤十字ベーシックライフサポーターを取得。 次の認定予定日まで有効(1単位)

#### カテゴリーB インテグリティ研修への参加

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限				
	一般	専任教員			
1	1	1	1回:1単位	<ul style="list-style-type: none"><li>MyJSPOにてカテゴリーBの申込フォームを検索</li><li>申込が承認され次第、「資格を取得する」&gt;「eラーニング」のページから動画を視聴する。</li></ul>	動画を全て視聴（1単位）

# 3. カテゴリー別詳細

## カテゴリーC JSPOが認める国内での研修会への参加

単位数				単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限					
	一般	専任教員				
2	上限なし	上限なし	学術団体主催の学会等	指定演題(プログラム)への4時間以上の聴講: 2単位(注4)	<ul style="list-style-type: none"><li>JSPOのHPから対象となる研修会を確認し、各研修会の定める方法で申込</li><li>研修会参加後1か月以内にMyJSPOに実績が反映される</li><li>1か月以上経過しても実績が反映されない場合は主催団体や学校に状況を確認する。</li><li>遅刻、早退により定められた時間数を満たさない場合、単位は付与されない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>JSPOが承認したxx学会において指定演題を4時間聴講(2単位)</li><li>JSPOが承認したXX県AT協議会主催の研修会に3時間以上参加(1単位)</li><li>日本xx協会主催の研修会に3時間以上参加(1単位)</li></ul>
			JSPO-AT都道府県・ブロック協議会主催の研修会	基準を満たした3時間以上の研修会への参加:1単位		
			中央競技団体・プロスポーツ団体等主催の研修会	基準を満たした3時間以上の研修会への参加:1単位		
			アスレティックトレーニング関連団体主催の研修会	基準を満たした3時間以上の研修会への参加:1単位		
			JSPO公認スポーツ指導者対象の更新研修	基準を満たした3時間以上の研修会への参加:1単位		

(注4)学術団体主催の学会では、JSPOに承認された指定演題(プログラム)の聴講が必須となる。  
指定演題(プログラム)は、学会が事前にJSPOへ申請し、承認を受けたものに限る。

# 3. カテゴリー別詳細

## カテゴリーD JSPOが認める国外での研修への参加

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限				
	一般	専任教員			
—	5	10	3時間以上の参加: 1単位	<ul style="list-style-type: none"><li>MyJSPOから、1.出席証明書 2.開催要項を画像形式またはPDF形式でアップロードする。</li><li>研修会主催団体が出席証明書を発行しない場合、以下の様式にもとづき本人が作成する。</li><li>様式は<a href="#">こちら</a>(準備中)</li></ul>	WFATTが実施する kongress に参加 (1単位)

## カテゴリーE 各種セミナーへの参加

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限				
	一般	専任教員			
—	1	2	3時間以上の参加: 1単位	<ul style="list-style-type: none"><li>MyJSPOから、1.開催要項 2.日程表 3.出席証明書をPDF形式でアップロードする。</li><li>研修会主催団体が出席証明書を発行しない場合、JSPOの様式にもとづき本人が作成する。</li><li>様式は<a href="#">こちら</a>(準備中)</li></ul>	コンディショニングに関するセミナーに参加(1単位)

### 3. カテゴリー別詳細

#### カテゴリーF 教授法に関する講習会への参加

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限				
	一般	専任教員			
—	1	4	1回:1単位	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 講習会には免除適応コース承認校の教員が参加できる。</li><li>・ 参加案内は学校宛に通知する。</li><li>・ 参加後1か月以内にMyJSPOに実績が反映されない場合はJSPOに要確認</li></ul>	AT専任教員ミーティングに参加(1単位)

#### カテゴリーG スポーツ現場におけるJSPO-ATとしての活動

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限				
	一般	専任教員			
—	3	3	1日3時間以上の活動時間を有する日が1年間で100日以上:1単位	<ul style="list-style-type: none"><li>MyJSPOから、1.活動証明書 をPDF形式で、2. 活動記録簿 をExcel形式でアップロードする。</li><li>活動証明書はJSPOの様式にもとづき現場責任者が作成する。</li><li>活動記録簿はJSPOの様式にもとづき本人が作成する。</li><li>活動証明書 様式は<a href="#">こちら</a>(準備中)</li><li>活動記録簿 様式は<a href="#">こちら</a>(準備中)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>xxxx年xx日から起算して1年間に、〇〇クラブでのトレーナー活動や、各種大会での帯同などで合計100日以上活動(1単位)</li><li>xxxx年xx日から起算して1年間に、〇〇クリニック併設のトレーニング施設での活動や各種大会の救護班でのトレーナー活動などで合計100日以上活動(1単位)</li></ul>

### 3. カテゴリー別詳細

#### カテゴリーH アスレティックトレーニング学関連領域に関わる学術・研究活動

単位数				単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限					
	一般	専任教員				
—	3	4	(1)研究発表	筆頭者のみ—1演題:2単位 筆頭者以外—1論文:1単位	MyJSPOから、研究発表を行ったことが分かるプログラムをPDF形式でアップロードする。	〇〇学会でポスター発表(1単位)
			(2)論文執筆等の活動	原著論文・筆頭者のみ—1論文:3単位 原著論文以外・筆頭者のみ—1論文:2単位 筆頭者以外—1論文:1単位	MyJSPOから、活動したことが分かる論文写しやWebページなどをPDF形式でアップロードする。論文公開日をもって単位を取得する。	アスレティックトレーニング学に関して共著として論文執筆(1単位)
			(3)専門書籍の執筆等の活動	1回:1単位	MyJSPOから、本人が執筆、監修、翻訳、監訳を行ったことが分かる資料(書籍の場合は書籍名と執筆者、監修者、翻訳者、監訳者が確認できるページと目次のコピー)および奥付をPDF形式でアップロードする。出版日をもって単位を取得する。	アスレティックトレーニング学に関する書籍執筆(1単位)
			(4)演者、シンポジストとしての活動	1回:1単位	MyJSPOから、本人が執筆、監修、翻訳、監訳を行ったことが分かる資料(書籍の場合は書籍名と執筆者、監修者、翻訳者、監訳者が確認できるページと目次のコピー)をPDF形式でアップロードする。出版日をもって単位を取得する。	アスレティックトレーニング学会で演者として活動(1単位)



### 3. カテゴリー別詳細

#### カテゴリーI 研修会等での教育活動

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限				
	一般	専任教員			
—	3	6	1講演:1単位	・ MyJSPOから、研修会で講師等を行ったことが分かる開催要項やプログラムをPDF形式でアップロードする。	スポーツ現場における熱中症対策セミナーにて講師（1単位）

#### カテゴリーJ AT免除適応コース承認校が実施するJSPO-ATの教育活動

単位数			単位換算方法	手順	単位取得の事例	
必須	上限					
	一般	専任教員				
—	3	3	現場実習指導者としての活動	受入人数に関係なく 年間50時間以上:1単位	・ 学校からの依頼により講師を務めた場合に学校から単位が付与される。	xxxx年度上半期に 〇〇の講師を担当(1単位)
			実技確認テスト における検定員・ プレーヤー役としての活動	1年間で1日以上:1単位 (注5)		
			免除適応コース承認校 におけるAT専門科目カリ キュラムの講師としての活動	1半期(上期/下期):1単位 (注6)		

(注5)1年間のうち検定員・プレーヤー役を複数日担当しても1単位以上は実績として承認しない。

(注6)1半期(上期/下期)のうち複数科目で講師を担当しても2単位以上は実績として承認しない。

### 3. カテゴリー別詳細

#### カテゴリーK JSPOが実施するJSPO-ATの教育活動

単位数				単位換算方法	手順	単位取得の事例
必須	上限					
	一般	専任教員				
—	4	4	(1)JSPO-AT養成講習会の講師としての活動	1講習会:1単位 (注7)	• JSPOから対象者に打診し講師を務めた場合に単位が付与される。	JSPO主催のAT養成講習会で1時間講義(1単位)
			(2) JSPO-AT現場実習指導者説明会への参加	1回:1単位(注8)	• 参加案内等は学校宛に通知する。 • 2回目以降の参加には単位が付与されない。 • 参加後1か月以内にMyJSPOに実績が反映されない場合はJSPOに要確認	JSPO-AT現場実習指導者説明会に参加(1単位)
			(3) JSPO-AT実技確認テスト検定員説明会への参加	1回:1単位(注8)	• 参加案内等は学校宛に通知する。 • 2回目以降の参加には単位が付与されない。 • 参加後1か月以内にMyJSPOに実績が反映されない場合はJSPOに要確認	JSPO-AT実技確認テスト検定員説明会に参加(1単位)

(注7)講習会1期あたり、複数の講義で講師を担当しても2単位以上は実績として承認しない。  
(注8)2回目以降の受講実績は単位として承認しない。

## 4. 単位取得の注意事項

- 単位換算方法に記載の時間数以上受講しても、指定の単位のみ付与される。

例: カテゴリーCで同一研修会に6時間参加しても1単位、カテゴリーCとして認められた別の研修会に参加して2単位ずつ取得することは可

- 上限単位数を超えた更新研修受講実績および活動実績は単位として承認しない。
- JSPO-ATとアスレティックトレーナー専任教員は、取得が必要な単位数やカテゴリー別の上限単位等が異なるため、以下のように表記することで区別する。

JSPO-AT:一般AT(合計10単位)

免除適応コース承認校におけるアスレティックトレーナー専任教員:専任教員(合計20単位)

(「アスレティックトレーナー更新研修受講実績・活動実績の承認に関する基準」のとおり)

## 5. 更新登録に関する各種手続き

資格有効期限の6ヵ月前までに所定の研修を済まされた方を対象に、資格有効期限の約2ヵ月前に登録手続き書類を送付いたします。

手続きの流れは[JSPOホームページ](#)をご確認ください。